

「癌におけるDNAメチル化とゲノム構造及びタンパク発現解析」への協力のお願い

当院では過去に下記の研究に同意を頂いた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2023年11月1日～2024年9月30日の間に、【癌におけるDNAメチル化とゲノム構造の解析】に同意を頂いた方。

研究期間：倫理審査委員会承認日～2028年3月31日

研究目的・方法

この研究の意義と目的は、がん患者さんのがんで起こっている状態をDNAのメチル化とゲノム構造異常という形で情報を収集しタンパク発現との関連を明らかにすることです。また、その異常と臨床情報（がんの状態や薬剤の治療効果など）やがんパネル検査の結果との関連について明らかにすることも目的としています。

研究に用いる試料・情報の種類

すでに本研究でご提供頂いたがん組織、DNA、がんゲノムプロファイリングの解析データ及び臨床情報（がんの種類、年齢、性別、治療法や治療効果を含む）の解析に加えて、タンパク発現の網羅的解析を行います。検体・情報は中部国際医療センター及び東京都健康長寿医療センター、日本ジェネティクス、トミーデジタルバイオロジー株式会社のいずれかにて解析がおこなわれるが、検体は登録番号のみで管理されるため解析先に名前や住所などは伝えられません。

外部への情報の提供

解析後のがん組織や資料はとても貴重なものであり、この研究が終わった後も保管され、適用をうける規制を遵守して研究等で使用されることがあります。研究に利用する患者さんのがん組織情報からは、解析を開始する前に、当院にて名前や住所などが削除され、代わり研究用の登録番号が付けられる形で個人情報保護した状態で研究を行います。その結果が国内外のデータベースに提供されることがあります。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、中部国際医療センター医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究組織及びお問い合わせ先

研究責任者 水谷晃輔

〒505-8510 岐阜県美濃加茂市健康のまち一丁目1番地

中部国際医療センター がんゲノム診断・診療センター/泌尿器科

電話番号 0574-66-1100